

8月6日(火)

岩なるイエスの上で憩う

聖書朗読 マタイの福音書 7:24~27

そして、あなたがたのうちにある希望について説明を求める人には、だれにでもいつでも弁明できる用意をしていなさい。 ペテロ I 3:15

聖書にはよく偶像崇拜に関する記述があります。結局のところ、それは群衆が美術史の本の序章を飾るような彫像(編注:ゼウス神やアポロ神のような)を崇め、まるで物語に出てくる神々を信じていた世界の歴史上の一場面です。そういった形での偶像崇拜が地上から全くなかったわけではありませんが、現代の偶像崇拜は違う形を取る方が多いです。例えば、働いているクリスチャンが、何をおいても生活の安定が第一という、まるで生活の安定という祭壇で礼拝しているような生活に罪の意識を覚えないでしょうか。

銀行口座に預金があり、冷蔵庫には食べ物があり、車はよく整備されていること自体は何も悪くありません。知識を追い求める喜びや、新たな技能により自信を得ることや、冒険の旅は、本来全く悪いものではありません。しかし、どんなものでも神様の被造物が神様に取って代わる時、それは偶像となるのです。

クリスチャンとして、私たちは罪に対して死んでいるので、迷える人々を陥れる偶像崇拜からは自由であり、それゆえに私たちはもはやこの世のものではありません。この世のものが私たちを失望させ、失敗させ、落ち込ませても、イエス様が私たちの岩であられるゆえに、私たちは揺るがされません。

讚美歌 280 わが身ののぞみは

祈り 親愛なる主よ、あなたを離れ、この世の他の物に心を移そうとする試みをすべて滅ぼしてください。自分のすることすべてのうちに神様を探し求め、知っている人すべてに神様の愛を見せることができるように、私に知恵をお与えください。イエス様の御名によって。アーメン。

ノースカロライナ州 サクサパハウ / ジョエル・セルビー

8月7日(水)

より偉大な方

聖書朗読 マタイの福音書 12:38~45

この方以外には、だれによっても救いはありません。天の下でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名は人に与えられていないからです。 使徒 4:12

今日の物語で、イエス様はしるしを求める当時の宗教的指導者たちに挑んでいます。彼らは、イエス様が悪霊につかれた人を癒したのを見て、ただ悪霊どものかしらベルゼブルによって行っているだけだと言いました。イエス様は彼らにヨナの名前を思い出させました。ヨナは、嫌々ながら異教徒であるニネベの人々に宣教し、悔い改めをもたらしました。イエス様は彼らに異教徒の君主であるシバの女王について話しました。彼女は地の果てから来て、ソロモンの知恵に驚嘆しました。ヨナにも南の女王にもまさる偉大なリーダーが目の前にいるのに、彼らはイエス様を拒絶していました。

私たちは、自分の言いたいことの後ろ盾にするために人の名前を出すことが大好きです。自分の主張が正しいことを証明するために、誰かが最高裁判事の言葉を引用し、さらに他の誰かが大統領の言葉を引用し、遂には祖父ちゃんがこう言っていたとなるかもしれません。歴史の授業では、指導者、敵対者、勝者、敗者、戦士、調停者などという名前に注目します。たくさんの偉大な女性や男性が犠牲になり、あるいは勇敢に群衆を率いました。

今日の箇所でも二度、イエス様は私たちに『ここに(ヨナよりも、ソロモンよりも)まさった者がいる』と注意しています。聖書や歴史書には偉大な名前がいくつも出てきます。どうして私たちは最も偉大な名を忘れることができるのでしょうか。誰よりもまさったお方、イエス様がここにいるのです!

讚美歌 267 神はわがやぐら

祈り ああ、主なる神様、あなたがお自身の御子を送ってくださって、歴史に介入してくださったことを感謝します。これからも自分の歴史と自分自身をイエス様に明け渡すことができますように。イエス様の力強い御名によって。アーメン。

ネバダ州 カーソンシティ / ブルース M・ヘンダーソン

8月8日(木)

御言葉の種を蒔く

聖書朗読 マタイの福音書 13:18~30

このたとえの意味はこうです。種は神のことばです。

ルカ 8:11

私の叔母のアルマは種のカatalogを熟読するのが大好きでした。毎年冬に、彼女は春に植えられるように計画を練り注文しました。彼女の庭は道沿いにあり、彼女は道行く人々を喜ばせるために、花の列が2列になるように種を蒔いたものでした。そのように蒔くと、花が他の列でよく育っている野菜を隠すことになるのです。花も野菜もみな良い地に蒔かれていました。

クリスチャンとして、マタイ13章やルカ11章に記録されているイエス様の言葉のとおり、私たちがまた計画を立てて種を蒔かなければなりません。私たちが種を蒔いたところに雑草が生えるかもしれませんが、それは私たちが心配することではありません。イエス様が収穫の時に処理してくださるでしょう。

私たちはできる限り、いつでもどこでも御言葉を蒔かなければなりません。アルマ叔母さんのように、私たちは計画することができます。私たちはランチの時に誰かと会ったり、あるいは友人を聖書研究会に誘ったりすることができます。

私たちはすばらしい贈り物を持っているのですから、心の中に神様の御言葉を持っていない人々にそれを分け与えていく必要があります。どのような地になるかは彼ら次第ですが、私たちは種を蒔く者となりましょう。

讃美歌 502 いともかしこし イエスの恵み

祈り 親愛なる神様、あなたの御言葉に感謝します。私たちが多くの実を結ぶ良い地でありますように。あなたの祝福を周りの人々と分かち合うことができるように私たちを助けてください。あなたの御子であるイエス様の御名によって。アーメン。

ケンタッキー州 フォート・トーマス / ラニータ・ブラドレー・ボイド



8月9日(金)

決定的な瞬間

聖書朗読 マタイの福音書 17:1~8

私たちは聖なる山で主イエスとともにいたので、天からかかったこの御声を、自分自身で聞いたのです。 ペテロⅡ 1:18

『彼の言うことを聞きなさい』山上におけるイエス様の変容の場面で神様がおっしゃった言葉です。この御言葉、この命令が私たちにもたらされたのは何という奇跡、何と大いなることでしょうか。最も偉大な奇跡はイエス様の変容であるという人もいます。イエス様ご自身に起きた数少ない奇跡のひとつです。そうです、これは福音書の中でも画期的な出来事であり、私たちは著者によって与えられた多くのポイントを十分に見つけ出せていないかもしれません。

一時的であれ永遠にであれ、人間は神様に会います。イエス様は私たちと神様を繋ぐ結び目であり、地上から天の御国へとかかる橋です。イエス様の変容は神様の驚くべき表明です。最も親しい友であったペテロ、ヤコブ、ヨハネが目撃したことによって、イエス様が『人の子は、いまに人々の手に渡されます。そして彼らに殺されるが、三日目によみがえります。』と言われた後、動揺する彼らの信仰を安定させたことでしょう。

イエス様の身近な友人たちは、私たちが今持っているような福音書は持っていませんでした。彼らはバプテスマや受難や復活や昇天について、私たちが知っているようには知りませんでした。私たちは、福音の物語を知り、神様の御言葉によって多くの並行記述を学ぶという祝福を与えられています。ペテロ、ヤコブ、ヨハネにとって、これは決定的な瞬間でした。神様の御言葉に聞くと、それは私たちにとっても同様に決定的な瞬間です。

讃美歌 273B わがたましいを 愛するイエスよ

祈り 親愛なるお父様、福音書に感謝します。あなたの人類に対する永遠なるご計画はあらゆる意味で完全です。御言葉を与えられ、偉大なる奇跡である変容について読むことができることは大きな祝福です。ありがとうございます。イエス様の御名によって。アーメン。

テネシー州 キングストン / Wスコット・ウッドリー

8月10日(土)

偉くなるためには

聖書朗読 マタイの福音書 20:20~28

あなたがたの間で偉くなりたいと思う者は、みなに仕える者になりなさい。

マタイ 20:26

“ヘリコプター・ペアレント”(編注:自分の子どもの上空を旋回しながら常に見張っている親ということを比喩的に表した言葉)という言葉は、子どもたちの人生に対して過干渉の親のことを意味します。ある文化圏では、子どもたちが受けるにふさわしい注目や教育をちゃんと受けているかを確認するために、親が子どもたちについて学校まで来るそうです。大学生になっても、子どもの人生のあらゆる細部に深く干渉し続けている親がいるようです。

イエス様の時代には“ヘリコプター・ペアレント”とは呼ばれていなかったでしょうが、そういう考え方はすでにありました。ヤコブとヨハネの母親がイエス様にお願いをしました。ふたりの息子が、イエス様の御国で、ひとりにはイエス様の右に、ひとりには左にすわるようにと望みました。イエス様は母親と息子たちに、イエス様の右と左にすわることは、イエス様の許すことではないと言いました。でも、イエス様はその機会を活かして、人の先に立ったり、偉くなったりしたければ、まずしもべになりなさいと教えてくださいました。

イエス様は、息子たちのために最高のものを望んだ母親を責めたりなさいませんでした。ただ別の方向性を彼女に示したのです。このことは現代の親にとっても助けとなるかもしれません。親が子どもたちに人生における本当の成功や安定を達成させたいと思うなら、子どもたちにイエス様に従って、周りの人に仕えることを教えればよいのです。導くための唯一の方法は仕えることです。

讃美歌Ⅱ 173 弟子にしてください

祈り 親愛なる神様、私たちは御座に座されているあなたにまみえて、御子の右と左に誰がすわっているかを知る時を心待ちにしています。私たちに仕える心を与え、私たちが模範となって、子どもたちに仕えることを教えられるように助けてください。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 オースティン / ジョイス・ハーデン

8月11日(日)

親切で誠実でありなさい

聖書朗読 マタイの福音書 25:31~46

主は何をあなたに求めておられるのか。それは、ただ公義を行い、誠実を愛し、へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。 ミカ 6:8

親切と誠実は神様からの贈り物です。それらは御霊の実です。(編注:ガラテヤ 5:22~23参照)贈り物ですから、小さな子どもでも与えられているのです。私の孫のジョーダン、幼い頃から親切と誠実を示しました。これまで何度も、私がジョーダンを迎えに学校に行った時、彼は「今日お迎えがない友達がいるから、家に乗せて行ってあげてもいいかな、おじいちゃん」と尋ねてきました。私たちはもちろんそうしました。

あまり気付かれないかもしれませんが、小さな子どもたちは、しばしば善い行いをして、私たちによい教訓を与えてくれます。私は孫に、君は親切と誠実の行いを見せてくれているよと伝えました。

主なるイエス様は、愛とあわれみと親切について教えられました。『あわれみ深い者は幸いです。その人たちはあわれみを受けるから。』(マタイ 5:7) 私たちの親切やあわれみの行いは、受け取った人にとって宝物となるかもしれません。インソップ(編注:古代ギリシアの寓話作家、アイソプス。日本では英語読みのインソップという名でインソップ寓話の作者として知られる。紀元前619年~564年頃)が言ったように、“たとえ小さなことでも、人を助けてあげたことは自分に返ってくるものです。”(編注:命を助けてもらったねずみが罨にかかったライオンを助ける話、《ねずみの恩がえし》から)

讃美歌Ⅱ 26 ちいさなごに

祈り 愛なる神様であり、あわれみ深いお父様、あなたが私たちにくださった教えと模範を感謝します。いつも周りの人に親切にすることができるようにしてください。イエス様の御名によって。アーメン。



カリフォルニア州 サンフランシスコ / Sビル・ヒメネス